

# 教育委員会の事務点検・評価報告書

(令和4年度事業分)

令和5年9月

愛西市教育委員会

## — 目 次 —

I.	点検・評価について	1
	1 点検・評価の目的	1
	2 点検・評価の対象	1
	3 点検・評価の実施方法	1
	4 点検・評価の構成	2
II.	方 針	3
III.	第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図	6
IV.	施策体系図	7
V.	評価シート	9
<b>【学校教育課】</b>		
方針1	多様な学習指導の充実	9
	開かれた学校づくり	17
	教職員の資質向上	20
方針2	いじめ・不登校対策の充実	21
	特別支援教育の充実	23
	就学援助費による保護者負担の軽減	25
方針3	教育施設の充実	27
	学校規模の適正化	32
	情報教育の推進	33
<b>【生涯学習課】</b>		
方針4	生涯学習の充実	35
	文化財等の保護・活用	43
	文化・芸術活動の推進	47
	図書館サービスの推進	48

## 【スポーツ課】

方針 5	スポーツ活動の振興	51
	地域スポーツ指導者の養成	58
	スポーツ団体の育成・自立支援	60
	スポーツ施設の活用の充実	63

## I. 点検・評価について

### 1. 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」とします。）第26条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」とされています。

本報告書は、上記の規定に基づき、作成しました。

市教育委員会が管理・執行する事業の取り組み状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表することにより、効果的な教育行政の推進を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的としています。

### 2. 点検・評価の対象

市の最上位計画である「第2次愛西市総合計画」では、将来都市像を「ひと・自然 愛があふれるまち」としており、教育分野においては、「一人ひとりの学びを支えるまちづくり」を基本目標に掲げています。

「第2次愛西市教育大綱」（令和元年度～令和4年度）においても、総合計画に基づき家庭、地域、学校等の連携により本市の子どもたちを健やかに育むこと、生涯学習を通じて学習、文化・芸術活動、スポーツ活動に親しめる環境を充実すること、地域の歴史、文化、祭り等の継承への取組を推奨しています。

本報告書は、基本目標を達成するため、令和4年度に市教育委員会が実施した56項目の事業を対象として、点検・評価を実施します。

### 3. 点検・評価の実施方法

市教育委員会では、市の将来像を実現するために5項目の方針を掲げて、方針に属する施策ごとに評価シートを作成し、施策を構成する主な事業の実施状況や事業ごとに設定した成果に対する実績を基に、点検・評価を実施しました。令和4年度に実施した各事業を以下の基準に則りA～Eの5段階で評価しています。

#### 《5段階評価の基準》

- A 目標を十分達成し、期待される効果が得られた（90%～100%）
- B 目標を概ね達成し、ほぼ期待通りの成果が得られた（70%～90%）
- C 目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた（50%～70%）

- D 目標をあまり達成できず、成果が少なかった（30%～50%）
- E 目標をほとんど達成できず、成果が無かった（30%未満）

また、地教行法第26条第2項では、「教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とされています。

この規定に基づき、市教育委員会では3名の有識者の皆様に評価委員を委嘱し、ご意見をいただきました。

- |              |         |
|--------------|---------|
| ・市社会教育委員     | 高橋 寛直 氏 |
| ・元愛知県立高等学校校長 | 水谷 正照 氏 |
| ・市PTA連絡協議会会長 | 井上 貴晶 氏 |

#### 4. 点検・評価の構成

- (1) 基本方針  
施策の目指す基本方針を掲げています。
- (2) 事業実施状況  
施策（事業）の目標達成に向けて、当該年度を含む過去3年間の事業の主な取り組みを記載しています。
- (3) 教育委員会による評価（自己評価）  
令和4年度に実施した主な取り組みや、事業ごとに設定された成果目標と実績に基づく自己評価をA～Eの5段階で記載しています。
- (4) 成果並びに今後の課題  
令和4年度事業の成果と今後の課題を記載しています。
- (5) 評価委員による意見  
評価委員の皆様からいただいた主なご意見を記載しています。

## Ⅱ. 方 針

**方針1**…豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。

- 多様な学習指導の充実  
児童生徒一人ひとりが確かな学力を身につけられるよう、個に応じたきめ細やかな指導を充実します。グループ学習や少人数指導に対応できるよう、教職員の適正配置に努めます。
- 開かれた学校づくり  
保護者や学校評議員をはじめとする地域住民の意見を幅広く取り入れ、地域に根差した特色ある開かれた学校づくりを推進します。  
また、地域学習によりコミュニティとの連携を進めることで、郷土を愛し、地域に貢献できる児童生徒の育成を目指します。
- 教職員の資質向上  
教職員の意識改革や資質・指導力の向上を図るため、授業研究をはじめとする教職員研修の充実を図ります。

**方針2**…豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。

- いじめ・不登校対策の充実  
いじめの未然防止、早期発見のためのアンケート実施や面談の充実を図ります。また、不登校児童生徒の学力向上や社会性の涵養に努めます。
- 特別支援教育の充実  
障害のある児童生徒が、地域の学校でそれぞれの個性や能力に応じた教育が受けられるよう、適切な学習支援や自立支援を行います。
- 就学援助費等による保護者負担の軽減  
経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行い、児童生徒の就学を支援します。

**方針3**…豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。

- 教育施設の充実  
学校施設の老朽化に対応し、必要に応じ計画的な改修工事を実施します。
- 学校規模の適正化  
児童生徒の「学ぶ力」や「生きる力」を養うために学校規模の適正化

をはじめ、教育環境整備を推進します。

○ 情報教育の推進

学校生活や授業等に活用できるよう、大型提示装置の導入や無線LANの整備を進め、学校におけるICT環境を整備します。また、教員研修等を通じ、ICT教育にかかる指導体制を整備します。

**方針4**…一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。

○ 生涯学習の充実

市民の様々な学習ニーズに対応できるよう生涯学習の機会を提供し、環境を整えます。また、地域と協力し、次世代を担う青少年の健全育成活動を推進します。

○ 文化財等の保護・活用

郷土の文化を後世に正しく継承できるよう、文化財等の資料収集・整理を行い適正な調査・記録を行います。また、市民が地域の歴史に対し、知識を得、持続発展できる機会の充実を図ります。

○ 文化・芸術活動の推進

一人ひとりが意欲的に豊かな人生を送ることができるよう、文化祭等の成果発表の場を提供します。また文化協会をはじめとする文化・芸術を行う団体の活動を支援します。

○ 図書館サービスの推進

図書館が地域の生涯学習拠点となるよう、蔵書の充実や市民に対する情報提供の向上を図ります。また、市民の学習ニーズや子どもの読書離れ解消に対応し、様々な事業を行います。

**方針5**…「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

○ スポーツ活動の振興

幅広い世代が参加できるスポーツ活動の普及に向け、愛西市総合型地域スポーツクラブ等の活性化や、地区市民体育大会の開催、スポーツ推進委員によるスポーツイベント等を促進します。また、ニュースポーツやレガッタ等特色あるスポーツの普及を図ります。

○ 地域スポーツ指導者の養成

各種団体活動や、スポーツ推進委員の活動を通じた指導力の向上を促進します。また、指導者の養成を図るため、研修や教室への参加を促すことで、指導力の向上を図ります。

- スポーツ団体の育成・自立支援  
愛西市体育協会と愛西市総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、組織の自立的な運営を促進します。
- スポーツ施設の活用の充実  
スポーツ施設に指定管理者制度を導入することで、市民目線に立った効率的・効果的な管理・運営に努めます。また国際的なスポーツイベントに伴うキャンプ誘致施設としての活用を積極的に進めます。

### Ⅲ. 第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図

分類	基本目標	施策
1-(1)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	地域コミュニティの組織力強化
1-(2)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	市民協働によるまちづくりを進める環境整備
1-(3)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	環境に優しいまちづくり
1-(4)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	生活環境の改善
2-(1)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	地域ぐるみの防災・減災対策の推進
2-(2)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	防犯活動の推進
2-(3)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	消防・防火対策の推進
2-(4)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	交通安全対策の推進
3-(1)	心身ともに健やかなまちづくり	生涯、いきいきと暮らせる健康づくりの推進
3-(2)	心身ともに健やかなまちづくり	医療体制の充実
3-(3)	心身ともに健やかなまちづくり	社会保険の安定的運営
3-(4)	心身ともに健やかなまちづくり	子育て支援の充実
3-(5)	心身ともに健やかなまちづくり	障害者(児)福祉の推進
3-(6)	心身ともに健やかなまちづくり	介護・高齢者福祉の推進
3-(7)	心身ともに健やかなまちづくり	生活自立の推進
4-(1)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	商工業、新規産業の振興
4-(2)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業の振興
4-(3)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業生産基盤の整備
4-(4)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	観光の振興
5-(1)	快適で便利なまちづくり	道路網の整備
5-(2)	快適で便利なまちづくり	公共交通網の整備・充実
5-(3)	快適で便利なまちづくり	公園、緑地の整備
5-(4)	快適で便利なまちづくり	計画的なまちづくりの推進
6-(1)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	学校教育の推進
6-(2)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	生涯学習、文化、スポーツ活動の推進
7-(1)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行政サービスの向上
7-(2)	市民に信頼される、安定した行財政運営	公共施設等の管理・運営
7-(3)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行財政運営の推進
7-(4)	市民に信頼される、安定した行財政運営	地域情報化の推進と広域連携の推進

#### IV. 施策体系図

学校教育課	
多様な学習指導の充実	
	児童生徒芸術鑑賞
	修学旅行児童生徒旅費
	学校給食費負担事業
	交通教育
	防災訓練
	非常勤講師派遣事業
	ALT講師配置事業
	学校活動総合事業
開かれた学校づくり	
	食についての正しい知識の啓発
	学校評議員設置事業
	PTA活動運営・PTA連絡協議会
教職員の資質向上	
	社会科研究事業
いじめ・不登校対策の充実	
	適応指導教室事業
	いじめ問題対策事業
特別支援教育の充実	
	特別支援教育就学奨励事業
	特別支援教育支援員の配置
就学援助費による保護者負担の軽減	
	私立高等学校授業料等補助事業
	就学援助事業
教育施設の充実	
	通学路の安全点検
	防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業
	学校施設環境整備事業
	愛西市学校給食センター整備・運営事業
	学校空調整備事業
学校規模の適正化	
	小中学校適正化事業
情報教育の推進	
	小中学校ICT事業
	小中学校GIGAスクール事業

生涯学習課	
	生涯学習の充実
	生涯学習施設の維持管理事業
	指定管理者制度推進事業
	生涯学習推進事業
	青少年育成事業
	二十歳の集い事業
	家庭教育推進事業
	婦人団体育成事業
	土曜日の教育活動推進事業
	文化財等の保護・活用
	文化財等保護保存事業
	文化財民俗芸能保護保存事業
	文化財啓発事業
	ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業
	文化・芸術活動の推進
文化芸術団体育成事業	
図書館サービスの推進	
図書館整備充実事業	
図書館資料提供事業	
子ども読書活動推進計画事業	

スポーツ課	
	スポーツ活動の振興
	高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング
	高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ
	スポーツ教室開催事業
	ニュースポーツフェスティバル開催事業
	スポーツ推進計画推進事業
	スポーツ教室推進
	スポーツイベント開催
	地域スポーツ指導者の養成
	スポーツ推進委員活動事業
	地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)
	スポーツ団体の育成・自立支援
	地区市民体育大会助成事業
	スポーツ協会補助事業
	総合型地域スポーツクラブ助成事業
	スポーツ施設の活用の充実
	スポーツ施設等指定管理者事業
	体育施設整備事業

V. 評価シート

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	1. 多様な学習指導の充実		

事務事業番号		1-1-1	
事務事業名		児童生徒芸術鑑賞	新規/継続 継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	保護者負担の軽減と授業内容の充実を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校へ芸術鑑賞費用の補助金を交付する。</li> <li>・380円/児童生徒1人（下限:90,000円/小学校 114,000円/中学校）</li> </ul>		
成果指標項目			R7目標 —
	R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—
単位:	実績	—	—
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:3校 846人</li> <li>・中学校:2校 794人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:6校 1,569人</li> <li>・中学校:5校 1,314人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:11校 2,481人</li> <li>・中学校:6校 1,451人</li> </ul>
事業費(千円)	710	1,355	3,372
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	710	1,355
担当課評価	C	C	C
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、児童芸術鑑賞事業を見合わせていた小学校が、令和4年度は感染状況を見ながら実施したことにより増加した。児童生徒数の減少が進む中でも、補助額の下限を設けることで、学校規模に関わらず同じような芸術鑑賞会を開催することができ、児童生徒の豊かな感受性の醸成を図ることができた。</li> <li>・保護者負担軽減のため、補助は有用である。</li> </ul>		
今後の課題	補助額の妥当性を検討	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な体験をさせるために、音楽、舞台、ミュージカルなど年によって様々な分野の開催を。</li> <li>・情操教育の充実のためには、有効な事業であると思う。</li> <li>・できる限り全ての児童に平等に芸術鑑賞の機会を与えられるようにしてもらいたい。</li> </ul>		

事務事業番号		1-1-2			
事務事業名		修学旅行児童生徒旅費		新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒のうち修学旅行対象者	目的	歴史や文化の体感・見聞を広め、集団行動を経験することによる責任感と協力を養うとともに、保護者負担の軽減を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行費用として補助金を交付</li> <li>・3,000円/小学生1人 4,500円/中学生1人</li> </ul>				
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生556人</li> <li>・中学校3年生536人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生536人</li> <li>・中学校3年生554人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生507人</li> <li>・中学校3年生489人</li> </ul>		
事業費(千円)	4,080	4,101	3,722		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	4,080	4,101	3,722	
担当課評価	C	C	C		
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の費用負担を求められる修学旅行においてその補助を行うことにより、保護者の負担軽減を行った。</li> <li>・保護者負担軽減のため、補助は有用である。</li> </ul>				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助額の妥当性を検討</li> <li>・中学3年生は体験学習事業へ移行するため、令和5年度からは小学6年生のみを対象</li> </ul>	今後の方針		縮小	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の人数により、バス代等の費用負担が大きくなることもあり、家庭の負担を少なくするためにも大切。</li> <li>・子育て支援策として、保護者の経済的負担を軽減することは、大変重要である。可能であれば、補助金の増額を検討されたい。</li> <li>・子育て世帯の経済的負担は増える一方であるので、補助の拡大を求める。</li> </ul>				

事務事業番号		1-1-3			
事務事業名		学校給食費負担事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	保護者負担の軽減と給食内容の充実を図る。	
事業概要		学校給食費の1食あたり10円を負担			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、児童生徒の給食費を一年間全額負担	新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、児童生徒の給食費を6ヵ月間全額負担 他の期間(353,593食分)は1食あたり10円の給食費負担を実施	新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、児童生徒の給食費を一年間全額負担	
事業費(千円)		229,454	138,460	241,643	
財源内訳	国庫支出金	214,730	125,271	228,135	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	14,724	13,189	13,508	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費が1年間無償化された。</li> <li>食材価格の上昇等を踏まえて、給食費の値上げを行った。</li> </ul>			
今後の課題		近年の社会状況により食材価格が徐々に上昇しているため、安定した学校給食が供給できるよう給食費について検討する必要がある。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ3年ぐらい全額市が負担しており、無償期間後の保護者の反応が心配される。</li> <li>学校での徴収は、滞納対応など一部の学校の先生に大きな負担となっている。</li> <li>成長期の児童・生徒にとって、給食の充実は大変重要である。子育て支援策の一つとして、給食費の公費負担は重要である。</li> <li>食材価格の上昇により、様々な問題があると思うが、維持してもらいたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-1-4		
事務事業名		交通教育	新規/継続	新規
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	交通ルール・交通モラルを学び、児童生徒の交通安全意識を高める。	
事業概要	小中学校における交通安全教室の実施			
成果指標項目	小中学生の交通事故件数		R7目標	3
		R2	R3	R4
成果指標	目標	3	3	3
単位: 件	実績	5	6	6
事業実施状況	交通安全教室 6回	交通安全教室 15回	交通安全教室 20回	
事業費(千円)	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
担当課評価	C	C	C	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAFによる愛西市内小中学校向け交通安全講習(オンライン)を実施</li> <li>・各校で交通安全教室が開催され、安全への意識や自覚を促し、実践することで交通安全意識の向上を図った。</li> </ul>			
今後の課題	交通事故件数の減少を目指し、効果的な事業ができないか検討	今後の方針		拡大
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期や方法など各校で工夫されていると思う。自転車利用の際のヘルメット着用についても力を入れてほしい。</li> <li>・命を守るために必要な事業である。身近で起きた具体的な事故事例を提示して、児童・生徒に理解させる教室が必要と考える。</li> <li>・子供の交通安全意識向上のため、続けてもらいたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-1-5			
事務事業名		防災訓練		新規/継続	新規
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	地震、火災等の自然災害から身を守り、より防災意識を高める。	
事業概要		小中学校において地震・火災・洪水による避難訓練、防災講話などを実施する。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		地震17校 火災16校 津波10校 洪水8校 浸水5校 訓練回数92回	地震18校 火災16校 津波9校 洪水7校 浸水4校 訓練回数95回	地震18校 火災18校 津波11校 洪水8校 浸水5校 訓練回数113回	
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署等の指導機関が参加した訓練が6校で24回開催、保護者が参加した訓練が6校で7回開催</li> <li>・訓練内容も避難誘導、初期消火、情報伝達から地震体験車やスモークハウスを使用したものまで多岐にわたり開催され、教員、児童生徒、保護者等と防災意識を高めている。</li> </ul>			
今後の課題		児童生徒の防災意識の程度を把握する手法を検討し、成果指標とする。	今後の方針		拡大
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水対策や浸水対策を強化してほしい。</li> <li>・保護者の引き渡し訓練など条件を変えながら実施してほしい。</li> <li>・児童・生徒への防災訓練、防災教育は重要である。地域や家庭(保護者)と連携を図り、共通認識に基づいて成果をあげることが必要であると思う。</li> <li>・子供の防災意識向上のため続けてもらいたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-1-6		
事務事業名		非常勤講師派遣事業	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	児童生徒の基礎学力向上及びきめ細やかな指導の充実	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた学習指導や課題別コース学習等、個性重視の教育を推進する授業を推進する授業改善を目指し、学級(教科)担任とともに少人数指導やチームティーチング授業を行う。</li> <li>・また、学校行事等における教育活動の補助及び児童生徒の集団生活への適応指導の補助を行う。</li> </ul>			
成果指標項目	愛西市立小中学校18校において非常勤講師による小人数指導、チームティーチングを行った学校数		R7目標	18
		R2	R3	R4
成果指標	目標	18	18	18
単位: 校	実績	18	18	18
事業実施状況	全校27名 小学校12校:4,471時間 中学校6校:2,352時間 【コロナ対応】児童生徒学習支援対策:2,802時間	全校22名 小学校12校:4,531時間 中学校6校:2,352時間 追加配当:361時間	全校19名 小学校12校:4,531時間 中学校6校:2,352時間	
事業費(千円)	13,777	16,036	15,805	
財源内訳	国庫支出金	0	3,395	727
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,777	12,641	15,078
担当課評価	A	A	A	
具体的評価	令和4年度も全校でチームティーチング、少人数指導、教育的配慮の対応ができるだけの非常勤講師を確保することができたが、学校からは更なる充実のための配当増が希望されている。			
今後の課題	実態の把握と教員の適正配置について県への要望を含めて継続的に検討していく必要がある。	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の実情に応じた教育活動ができるような配慮が必要。</li> <li>・教育効果を高めるためにも必要な事業である。</li> <li>・非常勤講師の力量を高める方策と正規教員と非常勤講師が連携を図り、効果的な指導法・教授法の確立を図ってほしい。そのためには、管理職(校長、教頭、教務など)の指導力も問われることになる。</li> <li>・学校からの希望に添えるように拡大を検討してもらいたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-1-7			
事務事業名		ALT講師配置事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚を養成	
事業概要		委託事業 18小中学校に外国語指導助手8人を派遣し、外国人による英語教育を実施			
成果指標項目		学校へ指導状況アンケート調査評価点		R7目標	4
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	-	-	3.50	
単位: 点	実績	-	-	3.47	
事業実施状況		延日数:小学校1,148日 中学校401日	延日数:小学校1,046日 中学校462日	延日数:小学校1,062日 中学校478日	
事業費(千円)		29,744	29,744	31,762	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,134	1,500	6,130	
	一般財源	2,861	28,244	25,632	
担当課評価		-	-	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>効果測定の手法を検討する必要がある。</li> <li>令和4年度以降も引き続き外国語指導助手を派遣し、児童生徒の外国語教育の向上に努めていく。</li> </ul>			
今後の課題		令和5年度から委託業者も変更となったことから適切な効果測定の手法を検討する必要がある。	今後の方針		拡大
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブな英語が話せる人材の確保が必要。また、英語力より、パーソナリティーの方が大事かもしれない。</li> <li>・児童・生徒が外国語に触れたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりと体験的な学習、英会話学習等を通じて、国際理解教育の一助となる。</li> <li>・児童・生徒の興味・関心を高めるのに効果的であると思う。日本人教師の英語力のレベルアップにもつながりたいものである。</li> <li>・拡大願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-1-8		
事務事業名		学校活動総合事業	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	教職員の研修事業、クラブ活動事業、児童生徒指導、総合学習活動事業に関する学校活動の促進を図る。	
事業概要	現職教育研修、クラブ活動、生徒指導、総合学習活動の費用へ補助金を交付 小学校:90,000円/校 + 8,500円/クラス + 1,500円/教職員 + 3,500円/クラブ 中学校:250,000円/校 + 30,000円/クラス + 1,500円/教職員 + 20,000円/クラブ			
成果指標項目			R7目標	—
		R2	R3	R4
成果指標	目標		—	—
単位:	実績		—	—
事業実施状況		小学校12校 中学校 6校	小学校12校 中学校 6校	
事業費(千円)	—	10,126	10,179	
財源内訳	国庫支出金	—	0	0
	地方債	—	0	0
	その他	—	0	0
	一般財源	—	10,126	10,179
担当課評価	—	B	B	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度まで個別で補助金を交付していた現職教育研修事業、クラブ活動事業、生徒指導事業、総合学習活動事業を、学校がより柔軟に学校活動の促進を図れるようにするため、令和3年度に補助事業を統合</li> <li>補助対象の制限なく重点事業へ補助を充当するなど、柔軟な補助金活用が見られた。</li> </ul>			
今後の課題	現状規模の事業継続を目指す	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途が限定的ではないので、現場は使いやすいと思う。</li> <li>・学校裁量で執行できることは、各校の教育活動に効果的であると思うが、現場の力量が問われることにもなる。</li> <li>・維持を継続してもらいたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	2. 開かれた学校づくり		

事務事業番号	1-2-1		
事務事業名	食についての正しい知識の啓発	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	食事や食習慣についての正しい知識の普及
事業概要	毎月1回献立表・給食だよりを発行 給食時に栄養指導を実施		
成果指標項目	市内小中学校における学校給食残渣量	R7目標	20,500
	R2	R3	R4
成果指標	目標	—	21,000
単位: kg	実績	—	21,115
事業実施状況	毎月「献立表」「給食だより」発行 給食指導、授業を実施 広報に給食レシピを掲載 学校給食の魅力を伝えてくれるような「給食キャラクター」を募集 愛西市産の農産物を利用した給食レシピを募集し、給食で提供	毎月「献立表」「給食だより」発行 給食指導、授業を実施 広報誌に給食レシピを掲載 愛西市産の農産物を利用した給食レシピを募集し、レシピ集を発行するとともに給食で提供	毎月「献立表」「給食だより」発行 給食指導、授業を実施 広報誌に給食レシピを掲載 愛西市産の農産物を利用した給食レシピを募集し、レシピ集を発行するとともに給食で提供
事業費(千円)	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	0
担当課評価	—	—	A
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとり生涯を通じた健康づくりの推進を目指し、食事や食習慣についての正しい知識の普及を図るため、他機関とともに各種啓発事業を行った。</li> <li>SDGsの観点から視野に、食べ残し削減の啓発や調理残渣削減の指導を実施</li> <li>食に関する教育は、学校給食の現場から学校の食育へと移行していくと考えられるが、当面は本事業を継続していく。</li> </ul>		
今後の課題	児童生徒の食事の多様化や、食物アレルギー対応児童生徒の増加など、食事を取り巻く環境が大きく変化している中、正しい知識の普及が難しくなっている。	今後の方針	拡大
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食の大切さを保護者を含めて、広報してほしい。</li> <li>メール配信等も行えば、保護者の方が買い物時にも見ることができる。</li> <li>献立表は子どもたちが楽しみにしていると思う。紙での配付も残していただきたい。</li> <li>拡大をして正しい知識の普及をしてもらいたい。</li> </ul>		

事務事業番号		1-2-2		
事務事業名		学校評議員設置事業	新規/継続	継続
対象	市立小中学校	目的	保護者や地域の意見を学校経営に反映し、特色ある教育活動を展開する。	
事業概要	小中学校に学校評議員を設置し、評議員会や個別に意見を聴取する。			
成果指標項目			R7目標	—
		R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—	—
単位:	実績	—	—	—
事業実施状況	18校 85人	18校85人	18校83人	
事業費(千円)	352	338	653	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	352	338	653
担当課評価	C	C	C	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度は、長引くコロナウイルス感染症蔓延防止のため、一部、書面会議等で対応していたが、令和4年度は概ね対面会議や授業視察実施により開催数が増加した。</li> <li>長期にわたり評議員となっている方もみえるため、令和4年度以降は評議員の入れ替えを促し、学校経営をより良いものとする。</li> </ul>			
今後の課題	評議員選任のスケジュールを見直し、効果的に学校経営ができるよう助言する環境整備	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>開かれた学校づくりには、不可欠。</li> <li>画一的な評議員会でなくても良い。</li> <li>学校経営方針のもとに各学校が教育活動を充実させることが重要である。毎年その経営方針を提示し、全職員が理解したうえで教育活動を展開するとともに保護者や地域の意見を取り入れていくことも大切だと思う。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		1-2-3			
事務事業名		PTA活動運営・PTA連絡協議会		新規/継続	継続
対象		市立小中学校PTA	目的	PTA活動の育成と促進、及び運営費の軽減	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校のPTA活動に対して補助金を交付 80,000円/校+150円/児童生徒1人</li> <li>愛西市PTA連絡協議会へ100,000円を補助</li> </ul>			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		・小中学校18校	・小中学校18校	・小中学校18校	
事業費(千円)		2,231	2,215	2,199	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	2,231	2,215	2,199	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>各校PTAへの補助額積算のうち、児童生徒割は保護者のPTA加入の有無に関わらず、全数で加算</li> <li>PTA活動運営費の軽減を図り、PTA活動の育成と促進を図った。</li> <li>PTAの在り方や実際の活動をもとにして、本事業を検討する必要がある。</li> </ul>			
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAの在り方や実活動を踏まえた本事業の検討</li> <li>PTA支出と公費負担を整理し、公正な経理を相互に求めていく必要</li> </ul>	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の減少に加え、昨今の社会情勢のため、会員数が減っているようで先行き不安もある。</li> <li>PTAの参加が任意になったことで、保護者の確保や役員決めがかなり難しい現状がある。PTA非加入の家庭の児童生徒に対して、どう対応していくのかを決めていかなければ、どこかで歪みができるのでは。</li> <li>市のPTA連絡協議会の役員と各学校のPTAの役員を同じ人に任命せず、分担できるように、市で割り振ってもらえると負担が減ると感じる。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	3. 教職員の資質向上		

事務事業番号	1-3-1		
事務事業名	社会科研究事業	新規/継続	継続
対象	社会科副読本	目的	より良い社会科副読本の作成
事業概要	社会科副読本作成のための調査費、消耗品費、印刷製本費等の経費へ補助金を交付50,000円/校		
成果指標項目		R7目標	—
	R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—
単位:	実績	—	—
事業実施状況	社会科副読本作成に向けた調査、研究に係る経費に対して補助 (代表校:開治小学校)	社会科副読本作成に向けた調査、研究に係る経費に対して補助 (代表校:永和小学校)	社会科副読本作成に向けた調査、研究に係る経費に対して補助 (代表校:西川端小学校)
事業費(千円)	50	50	50
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	50	50
担当課評価	C	C	C
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科副読本作成のための調査費、消耗品費、印刷製本費等の経費を支援した。</li> <li>・令和7年度の、より良い社会科副読本の改訂版作成に向けて調査、準備を進めるために、補助を継続する。</li> </ul>		
今後の課題	事業効果、事業規模等の検証方法を検討する必要	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の専門的な研究ができる方が調査等を行うのであれば、代表校の校長が受け取るのではなく、社会科研究会のような組織に補助を実施してはどうか。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>		

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	1. いじめ・不登校対策の充実		

事務事業番号		2-1-1	
事務事業名		適応指導教室事業	新規/継続
対象		市立小中学校に在籍で学校に通えなくなった児童生徒	目的
事業概要		集団生活に馴染み学校へ復帰できる力、及び将来社会で自立できる力を養う。	
事業概要		適応指導教室「すまいる」を市内2か所に設置、運営	
成果指標項目		適応指導教室「すまいる」を利用した対象児童生徒の割合	R7目標
		R2	R3
成果指標	目標	—	50.0
単位: %	実績	—	28.9
事業実施状況		不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導 相談事業・関係機関との連携 専門的な知見を持った会計年度任用 職員を2名増員	不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導 相談事業・関係機関との連携 夏休みの相談体制 学校との連携強化
事業費(千円)		17,391	17,598
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	17,391	17,598
担当課評価		—	C
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小中学校に在籍する学校になじめない児童生徒が、少しでも早く学校復帰できるよう専任指導員による個々の実態に応じた指導を行った。</li> <li>長期休業中(夏休み)も所長もしくは室長を配置し、相談対応できる体制をとった。</li> <li>所長及び室長が小中学校の生徒指導部会にオブザーバーとして出席し、学校から相談しやすい体制を整え、対象児童生徒の早期把握に努めることができた。</li> </ul>	
今後の課題		すまいるには来室できるが、時間等の枠組みに馴染まない児童生徒への対応、すまいるに限らずフリースクール等、家庭の外とのつながりが持ていない児童生徒への対応、発達支援センターとの連携が課題	今後の方針
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>2ヶ所になり通いやすくなったことは大変良い。分室での開設なども考えていただきたい。</li> <li>多様な児童・生徒の適応指導は、大変重要である。今後も継続していただくことが必要だと思う。</li> <li>状況によっては、規模を拡大することも必要だと考えられるし、専任指導員については、タイプの異なる人材を準備されると良いのではないかと。</li> <li>しっかりと支援できるよう努めていただきたい。</li> </ul>	

事務事業番号		2-1-2			
事務事業名		いじめ問題対策事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学校児童生徒、保護者、教職員、関係機関	目的	いじめの未然防止、早期発見・早期対応、重大事態に関する調査、および連携、啓発	
事業概要		愛西市いじめ問題対策連絡協議会の実施、県スクールカウンセラー(SC)事業の活用、「Q-U」及びいじめに関するアンケート調査の実施、重大事態に係る調査の実施			
成果指標項目		いじめの解消率		R7目標	100
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	100	
単位: %	実績	—	—	84	
事業実施状況		SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回)	SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回)	SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回)	
事業費(千円)		26	26	13	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	26	26	13	
担当課評価		—	—	B	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関の連携を図る。</li> <li>いじめ問題対策連絡協議会等条例を令和5年3月31日制定</li> <li>いじめの認知件数は増加しているが、いじめの「芽」の段階から認知されることで、早期に教職員が対応に当たることができている。</li> <li>いじめ問題対策連絡協議会委員2名が欠席したため、昨年度比事業費(報償費)が減</li> </ul>			
今後の課題		いじめに関する相談体制の整備するため、海部児童・障害者相談センター等の県内の様々な相談機関と連携・協力を図る。 いじめの未然防止のための方策について検討	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめをなくすために、これだけの手立てを取らなければならない、現場の苦勞が分かる。</li> <li>この事業は必要であるが、教育現場で指導の前線にいる一人ひとりの教師が、いじめを見逃さない眼力を磨くこと、指導力(資質)を高めることに力点を置く必要がある。</li> <li>管理職員のいじめをなくすという強い意気込みを全職員に示し続けることが重要であり、担任(担当)一人が抱え込むことのないような体制作りをしていただきたい。</li> <li>いじめ問題を確実に把握できるよう努めていただきたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	2. 特別支援教育の充実		

事務事業番号		2-2-1		
事務事業名		特別支援教育就学奨励事業		
		新規/継続	継続	
対象	市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者	目的	保護者の経済負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励を図る。	
事業概要	経済的な負担能力に応じて、学用品費等の一部を支援する。			
成果指標項目			R7目標	
	R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	
単位:	実績	—	—	
事業実施状況	小学生 57人 中学生 28人	小学生 66人 中学生 30人	小学生 71人 中学生 20人	
事業費(千円)	1,347	2,324	1,259	
財源内訳	国庫支出金	451	1,161	629
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	896	1,163	630
担当課評価	C	C	C	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への制度周知を行った。</li> <li>学用品費は領収書が必要となることから、周知の際に分り易い文書とする必要がある。</li> <li>インターネットでの購入者も見受けられ、その場合の提出方法も検討を要する。</li> <li>近年はコロナウイルス感染症対策(生活支援)として給食費無償化を実施しているため、決算額が以前より低くなっている。</li> </ul>			
今後の課題	支給に対する領収書の有無については、近隣市でも検討がなされているところであり、定額支給を導入するか要検討	今後の方針	拡大	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活費に利用されないような工夫は必要だが、使い難いのも問題である。</li> <li>必要な支援策であります。</li> <li>拡大願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		2-2-2			
事務事業名		特別支援教育支援員の配置		新規/継続	継続
対象		市立小中学校在籍の障害等により支援を必要とする児童生徒 日本語以外の母語を持ち、支援を必要とする児童生徒	目的	日常生活動作の介助、学習活動上の支援等や周囲の児童生徒の理解促進に努め、当該児童生徒の学校生活適応を促す。	
事業概要		支援員を配置し、学級担任及び保護者と連携して、学習活動、教室間移動等における介助、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助、対象児童生徒の健康・安全確保及び周囲の児童生徒の障害理解や日本語以外の母語を持つ児童生徒の文化的背景等の理解を促進する。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		17校38名の特別支援教育支援員を配置(報酬は人事課で計上)	17校43名の特別支援教育支援員、7校7名の多言語支援員を配置した。	17校48名の特別支援教育支援員、7校7名の多言語支援員を配置した。	
事業費(千円)		32,891	43,279	48,390	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	32,891	43,279	48,390	
担当課評価		B	B	B	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、支援学級在籍人数及び障害の程度に応じて、支援員の配当時間を算定しているが、障害者手帳未取得や心理検査等未実施な児童生徒の障害程度の実態把握が難しく、実際の配当時間との乖離が大きい。特別な教育的配慮を必要とする児童生徒への十分な支援のため、学校からは配当増が希望されている。</li> <li>・日本語以外の母語を持つ転入生に対して、年度途中でも多言語支援員が配置できるように予算を措置しているが、当該校にすでに配置されている特別支援教育支援員や県費非常勤講師が兼務できない場合、新規任用が難航する場合がある。</li> <li>・児童生徒の母語に対応できる人材ではない事もあり、児童生徒の適応促進や保護者との意思疎通に困難を抱えることが多い。</li> </ul>			
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手帳未取得や検査未実施な児童生徒、日本語以外の母語を持つ転入生の困難さを把握することが難しく、数値化など必要性を把握する手法を検討</li> <li>・当該児童生徒への十分な支援の観点から、配当時間の妥当性の検討も必要</li> </ul>	今後の方針	拡大	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状に合わせた配置が望ましい。言語に関わることでは、全市での対応が望ましい。</li> <li>・必要な支援策である。</li> <li>・配置を受けた学校側がより有効に人材を活用して、教育効果を上げるための対策が必要である。</li> <li>・拡大願いたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	3. 就学援助費による保護者負担の軽減		

事務事業番号	2-3-1		
事務事業名	私立高等学校授業料等補助事業		新規/継続
対象	市内に在住する私立高校生の保護者	目的	保護者の負担軽減と、国公立学校と私立学校の格差是正を図る。
事業概要	私立高等学校の授業料等の一部を市が単独補助する。 年額10,000円/人		
成果指標項目			R7目標
		R2	R3
成果指標	目標	—	—
単位:	実績	—	—
事業実施状況	補助対象私立高校生:398人	補助対象私立高校生:408人	補助対象私立高校生:423人
事業費(千円)	3,976	4,080	4,230
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,976	4,080
担当課評価	C	C	C
具体的評価	対象者に制度を周知するため、HP、広報掲載、申請実績のある私立学校に書類送付を行い、国公立学校と私立学校の格差是正を図った。		
今後の課題	他市の動向を情報収集し、事業精査を行う。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質的な格差が不明確で、補助額が妥当なのか判断が難しい。</li> <li>・子育て支援対策として、有効な事業でありますので継続されることを希望する。</li> <li>・年額10,000円/人は少ない。</li> </ul>		

事務事業番号		2-3-2			
事務事業名		就学援助事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学校に在籍する児童生徒及び就学予定者の保護者	目的	義務教育の円滑な実施	
事業概要		経済的な理由によって就学困難な児童生徒及び愛西市立小学校への就学予定者の保護者に対し、学用品費、修学旅行費及び宿泊を伴う校外活動費等を支援する。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		小学生 306人 中学生 203人	小学生 272人 中学生 150人	小学生 441人 中学生 270人	
事業費(千円)		11,204	21,382	13,436	
財源内訳	国庫支出金	4	11	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	11,200	21,371	13,436	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に制度を周知するため、市HP及び広報の掲載、全児童生徒に対して案内を配布</li> <li>・近年はコロナウイルス感染症対策(生活支援)として給食費無償化を実施しているため、決算額が以前より低くなっている。</li> </ul>			
今後の課題		希望者は毎年申請を要する旨、対象者への周知方法について検討する。	今後の方針		拡大
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが十分な家庭環境の中で育つのが望ましい。</li> <li>・子育て支援対策として、有効な事業であるため、全市をあげて周知を図るべき。</li> <li>・継続されることを希望する。</li> <li>・拡大願いたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	1. 教育施設の充実		

事務事業番号		3-1-1	
事務事業名		通学路の安全点検	新規/継続
対象		市立小中学校の通学路	目的
事業概要		児童生徒の通学の安全を守る。	
事業概要		PTA・教職員等による通学路の危険箇所を点検、その後、各管理者や警察と現地を確認し、必要に応じて安全対策を講じる。	
成果指標項目		全小学校区の危険箇所の把握	R7目標
		R2	R3
成果指標	目標	実施	実施
単位: ー	実績	実施	実施
事業実施状況		通学路点検 18校70回 合同点検箇所数:90ヶ所 改善等対応済:65ヶ所	通学路点検 18校69回 合同点検箇所数:111ヶ所 改善等対応済 :39ヶ所
事業費(千円)		154	165
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	154	165
担当課評価		C	C
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師、児童生徒、保護者、スクールガード等による多くの視点で通学路点検が実施された。</li> <li>・学校から報告のあった改善要望箇所を、道路管理者や警察と一緒に合同点検を実施し、対応できることから速やかに対応した。</li> <li>・各署にご尽力いただき、長年懸案だった佐屋西小学校通学路に安全対策が実施された。</li> </ul>	
今後の課題		草平小学校通学路の懸案箇所の解消に向けて、関係各署と協力 通学路点検結果の危険箇所の解消	今後の方針
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が自転車の通学で問題がないように整備したい。</li> <li>・児童・生徒の安全を確保するために必要な事業である。各学校が実態把握に努め、危険箇所を撲滅していただきたい。</li> <li>・佐屋西小学校区内だけでも危険箇所はたくさんあるので、市として子供が絶対に被害者にならないようにしてもらいたい。</li> </ul>	

事務事業番号		3-1-2		
事務事業名		防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業	新規/継続	継続
対象	市立小学校の1年生児童 市立小中学校児童生徒の保護者	目的	防犯ブザーで不審者等からの被害を回避する。 保護者へ不審者情報等を知らせ、児童生徒の安全確保に努める。	
事業概要	小学校新1年生に防犯ブザーを無償配付する。 保護者の携帯電話へ不審者情報等をメール配信する。			
成果指標項目			R7目標	—
		R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—	—
単位:	実績	—	—	—
事業実施状況	小学1年生495人 防災等情報配信メール配信件数 42件(内防犯11件)	小学1年生 495人 防災等情報配信メール配信件数 25件(内防犯0件)	小学1年生 446人 防災等情報配信メール配信件数 13件(内防犯4件)	
事業費(千円)		651	651	681
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	651	651	681
担当課評価		C	C	C
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯ブザーは通学時における児童の安全を図るために必要数購入した。</li> <li>・令和4年度防犯メールは、他市における不審者情報等であり、本市においての事案は無かった。</li> </ul>			
今後の課題	令和6年度よりメール配信システムの更新が予定されており、更なる有効活用を進めていく	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の対応も大変だと思う。より使いやすい配信システムを望む。</li> <li>・市の防災無線の有効活用をしていただきたい。関係部局と調整され、児童・生徒の下校時刻を防災無線で地域の皆さまにお知らせし、見守りを依頼できるような方策を検討していただきたい。</li> <li>・配付されるブザーが壊れやすく、多くの児童が個別に購入していると思われるので、実情を把握し、配付ではなく必要に応じて防犯ブザーの購入を促す、という手法も検討してはどうか。</li> </ul>			

事務事業番号		3-1-3			
事務事業名		学校施設環境整備事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	学校施設環境の整備	
事業概要		快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設の整備を実施			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		【設計】 佐屋西小・八輪小・開治小・佐屋中・立田中・八開中・佐織西中 【工事・監理】 北河田小・草平小・永和中	【設計】 立田南部小・立田北部小 【工事・監理】 佐屋西小・八輪小・開治小・佐屋中・立田中・八開中・佐織西中	【工事・監理】 立田南部小・立田北部小 【工事】 佐屋中	
事業費(千円)		179,542	251,262	55,594	
財源内訳	国庫支出金	49,112	72,256	17,634	
	地方債	113,600	152,800	31,100	
	その他	0	0	0	
	一般財源	16,830	26,206	6,860	
担当課評価		A	A	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の計画どおり対象施設への事業実施</li> <li>・各校の現状を考慮して、洋式化、床乾式化、車いす用トイレや多目的トイレの設置等を実施</li> <li>・令和4年度で各校1カ所ずつトイレ改修が完了し、目標充足率(児童生徒50人に対して洋式トイレ3基)を達成</li> <li>・佐屋中は、車椅子の生徒に対応したトイレ等を体育館や武道場に設置</li> </ul>			
今後の課題		小中学校適正化事業の進捗にあわせ、現在の学校に必要な機能を満たす整備を計画	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが快適に使用できることや清掃のしやすいことも大切なことである。</li> <li>・必要な事業である。遅滞なく事業ができるよう予算獲得に尽力されたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		3-1-4			
事務事業名		愛西市学校給食センター整備・運営事業		新規/継続	継続
対象		佐屋・立田地区の児童生徒	目的	安心安全な学校給食を提供	
事業概要		PFI法を活用した学校給食センターの維持管理及び運営を行う。			
成果指標項目		給食開始時間に提供が間に合わなかった件数		R7目標	0
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	0	0	0	
単位: 件	実績	0	1	0	
事業実施状況		給食に関する重大な事故は無し。配送時間遅れが1件あったが、給食は定刻に提供された。	給食に関する重大な事故は無し。配送時間遅れが1件あり、1校は給食の提供が定刻に数分間に合わなかった。	給食に関する重大な事故は無し。配送時間遅れが1件あったが、給食は定刻に提供された。	
事業費(千円)		208,623	220,274	207,651	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	208,623	220,274	207,651	
担当課評価		A	C	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底した衛生管理に基づき、安定した給食の提供を実施した。</li> <li>・配送時間が遅れたケースは調理の遅れが原因だったため、改善や対応の検討を指示した。</li> <li>・現状を維持できるよう引き続き事業を進める。</li> </ul>			
今後の課題		安定した学校給食供給を維持するため、令和8年度以降の管理体制を速やかに検討する必要がある。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面の徹底は大切。</li> <li>・夏場の調理員さんたちの働く環境は過酷であるため、休憩室等の検討も進めていただきたい。</li> <li>・必要な事業である。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		3-1-5			
事務事業名		学校空調整備事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校施設	目的	児童生徒及び教職員が、快適に学習・生活ができるよう施設環境の整備を図る。	
事業概要		新年度に増加した普通教室及び特別支援教室へ整備 小中学校の特別教室へ整備			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		増教室対応(小4校、中1校)	増教室対応(小1校、中1校)	増教室対応(小1校、中1校) 音楽室、理科室(中5校)	
事業費(千円)		8,358	2,787	21,232	
財源内訳	国庫支出金	4	11	0	
	地方債	0	0	19,800	
	その他	0	0	0	
	一般財源	8,354	2,776	1,432	
担当課評価		B	B	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校中学校1校の学級増分を整備</li> <li>・中学校の音楽室と理科室を整備</li> <li>・社会情勢の影響で機器調達に時間がかかり、夏までの設置ができなかった。</li> </ul>			
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の特別教室への整備</li> <li>・自校式給食の調理室等への整備</li> <li>・体育館への整備の検討</li> </ul>	今後の方針		拡大
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の設置は終わったので、保守・整備にも力を入れたい。</li> <li>・必要な事業であるため、速やかな設置、整備を希望する。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	2. 学校規模の適正化		

事務事業番号		3-2-1	
事務事業名		小中学校適正化事業	新規/継続 継続
対象	市立小中学校	目的	発達段階に応じたより良い教育と、安心安全で時代に応じた教育の提供
事業概要	小中学校適正規模等基本方針に基づいて基本計画を策定し、小中学校の規模等の適正化を実現する。		
成果指標項目			R7目標 —
		R2	R3 R4
成果指標	目標	—	—
単位:	実績	—	—
事業実施状況	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域との懇談会等を実施することができなかった。	愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会が5回開催され、市教育委員会へ提言書が渡された。	適正規模等並びに老朽化対策検討協議会を6回開催 同地区検討協議会を各地区合計22回開催 保護者説明会を2回と地区説明会を4回実施
事業費(千円)	0	216	2,193
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	216
担当課評価	E	B	E
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討協議会を設置し、基本計画(協議会案)をいただいた。その後、地区検討協議会を設置し、基本計画(協議会案)について各地区で検討を実施した。</li> <li>・立田地区と八開地区で保護者の方にアンケートをお願いした結果は以下の通りとなった。 立田地区では「賛成・概ね賛成」が47%、「判断できない」が30%、「反対」が23% 八開地区では「賛成・概ね賛成」が35%、「判断できない」が26%、「反対」が37%</li> </ul>		
今後の課題	「判断できない」と答えられた方が多く、適正化事業の説明や教育委員会としての考えを広く丁寧に進めていき、一人でも多くの方にご賛同いただきたい。	今後の方針	拡大
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化は急激に進んでいる。小中ともに急ぎたい。ただ、地区から学校をなくさない努力も必要。</li> <li>・長期的には、住みやすい、子育てしやすい町づくりを進めたい。</li> <li>・児童・生徒の学習環境を守るためにも速やかな実現が必要と考える。</li> <li>・子供にとって最適な学校環境にしてもらいたい。</li> </ul>		

方針番号	方針内容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	3. 情報教育の推進		

事務事業番号		3-3-1	
事務事業名		小中学校ICT事業	新規/継続 継続
対象	市立小中学校	目的	学校の生活や学習の中で日常的にICTを活用できる環境を整備
事業概要	老朽化した機器の更新や無線LAN、大型提示装置等の機器設置		
成果指標項目	小学6年生は5年生までに、中学3年生は中学1~2年で受けた授業で、ICT機器をほぼ毎日使用した児童生徒の割合	R7目標	全国値
	R2	R3	R4
成果指標	目標	小:11.2 / 中:7.4	小:26.7 / 中:21.6
単位: %	実績	小:7.8 / 中:3.9	小:33.9 / 中:33.7
事業実施状況	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。
事業費(千円)	92,075	89,594	84,233
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	92,075	89,594
担当課評価	C	C	A
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバ、パソコン、プリンタ、大型提示装置、無線LANアクセスポイント等の賃貸借およびICT機器類のシステムの保守を行い円滑な運用に努めた。</li> <li>・GIGAスクール構想の運用により小学校のパソコン教室を撤去</li> <li>・週一回以上の使用も、小学校86.3%(全国83.2%)、中学校91.8%(全国80.6%)と上回っている。</li> </ul>		
今後の課題	・使用されていない機器の撤去、効果的な授業実施に必要な機器の検討とあわせて、効果的な活用に関する調査も必要	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面の充実と併せて、研修などを実施し、使用・活用しながら成果を上げられるように。</li> <li>・効果的な活用を推進することが必要である。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>		

事務事業番号		3-2-2			
事務事業名		小中学校GIGAスクール事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	Society 5.0時代を生きる子供たちに相応しい、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒1人1台のタブレット端末を配備</li> <li>・校舎内へ高速大容量通信ネットワークの整備</li> <li>・プロジェクタ等の導入を実施</li> <li>・ICT支援員を派遣し、教員支援を行う。</li> </ul>			
成果指標項目		学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒の割合		R7目標	全国値
		R2	R3	R4	
成果指標	目標			小:66.1 / 中:60.4	
単位: %	実績			小:66.2 / 中:60.9	
				小:71.5 / 中:59.0	
事業実施状況		LAN配線等の工事 iPad端末等の整備	ICT支援員を派遣 各校から直接インターネット接続	ICT支援員を派遣	
事業費(千円)		475,246	60,203	62,332	
財源内訳	国庫支出金	351,957	1,230	3,969	
	地方債	83,700	0	0	
	その他	0	3,139	5,000	
	一般財源	39,589	55,834	53,363	
担当課評価		A	A	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速大容量通信ネットワークが整備され、タブレット端末を導入し、授業での使用を推進している。</li> <li>・ICT支援員を派遣し、授業での活用の充実を図っている。</li> <li>・全国に比べてタブレットやコンピュータを効果的に活用している。</li> </ul>			
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が主体的に活用できるように、教員の指導法と目標の明確化、デジタルシティズンシップの向上、ICT支援員の効果測定を実施</li> <li>・指標の設定も検討が必要</li> </ul>	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に話を聞きながら、支援員の活用をしていただきたい。</li> <li>・機器だけでなく、使えるソフトを導入することで、活用が進むようにしてほしい。</li> <li>・学校教育課の指導員に、各学校を回った際に感じたことをもとに、先生への指導マニュアルを作る等していただきたい。</li> <li>・効果的な活用が進むような予算措置をしてほしい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	1. 生涯学習の充実		

事務事業番号	4-1-1		
事務事業名	生涯学習施設の維持管理事業	新規/継続	継続
対象	生涯学習施設	目的	生涯学習施設の改修工事を施工する。
事業概要	設備の経年劣化に対応するため、保全基本計画に基づく改修等を行い生涯学習施設の適正かつ円滑な運営を図る。		
成果指標項目			R7目標 —
	R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—
単位:	実績	—	—
事業実施状況	文化会館外壁等修繕工事 文化会館空調機修繕工事 中央図書館受変電設備修繕工事	文化会館ホール舞台幕修繕工事 文化会館直流電源修繕工事 中央図書館外壁等修繕工事	文化会館屋上防水等修繕工事 中央図書館空調設備改修工事 中央図書館外構修繕工事
事業費(千円)	63,809	58,288	87,245
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	59,851	41,809
	一般財源	3,958	16,479
担当課評価	C	C	C
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習施設は今後も施設、設備等の老朽化が進むものと考えられることから、施設保全基本計画に沿って改修を行う必要がある。</li> <li>文化、芸術の拠点施設として有効に活用されるよう、施設の整備を図っていく。</li> </ul>		
今後の課題	施設の老朽化により、大規模改修について検討する必要がある。	今後の方針	拡大
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な利用ができるように、先を見通した計画をたててほしい。</li> <li>計画的に事業を展開することが必要であります。</li> <li>施設の整備をしっかりとっていただきたい。</li> </ul>		

事務事業番号		4-1-2			
事務事業名		指定管理者制度推進事業		新規/継続	継続
対象		中央図書館 永和地区公民館 文化会館	目的	生涯学習施設に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウによるサービスの向上をめざす	
事業概要		中央図書館・永和地区公民館・文化会館に指定管理者制度を導入する。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		中央図書館指定管理料 永和地区公民館指定管理料 文化会館指定管理料 モニタリング	中央図書館指定管理料 永和地区公民館指定管理料 文化会館指定管理料 モニタリング	中央図書館指定管理料 永和地区公民館指定管理料 文化会館指定管理料 モニタリング	
事業費(千円)		87,607	93,273	99,737	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	147	661	921	
	一般財源	87,460	92,612	103,867	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度各施設において電気料高騰のために変更協定を行った。</li> <li>・中央図書館は令和2年度より2期目(5年間)、永和地区公民館は令和3年度より2期目(5年間)、文化会館は令和4年度より2期目(5年間)が始まった。</li> <li>・それぞれ施設管理や講座の開催などを行っている。</li> </ul>			
今後の課題		利用者へのサービス向上のため、民間の視点を生かして施設管理や事業の実施を行っていく。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・立田・八開地区の利用がしやすいようになる方法はないか。支所の活用はできないか。</li> <li>・この制度の導入によって、経費の節約と民間のノウハウによる市民へのサービスの向上を図ることは、市民にとっても良いことである。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-3			
事務事業名		生涯学習推進事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	地域住民のため、地域生活に根ざした事業を行い、生活文化の振興、健康の増進等を図る。	
事業概要		市民に学習機会を提供していくため講座を実施する。			
成果指標項目		生涯学習講座・教室の参加者数		R7目標	3,200
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	3,100	3,100	3,100	
単位: 人	実績	1,180	1,563	1,948	
事業実施状況		「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座3・高校連携講座4・ 市民大学5・佐織公民館講座14 (指定管理者自主事業 文化会館 6・永和地区公民館5)	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座3・高校連携講座5・ 市民大学4・佐織公民館講座17 (指定管理者自主事業 文化会館 26・永和地区公民館5)	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座2・高校連携講座6・ 市民大学4・佐織公民館講座21 (指定管理者自主事業 文化会館 37・永和地区公民館4)	
事業費(千円)		782	845	1,048	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	142	181	182	
	一般財源	640	664	866	
担当課評価		D	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大予防策を講じながら講座開催数を増やしたことにより、講座参加者数も増加した。</li> <li>・令和4年度より、高校連携講座の実施を2校から3校へ増やした。</li> </ul>			
今後の課題		参加者のニーズを把握し、参加してもらえるような講座を企画する必要がある。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のニーズを把握することと、参加しやすい設定も考えてほしい。</li> <li>・市民(地域住民)のニーズを把握して、適切な事業を展開されることを期待する。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-4			
事務事業名		青少年育成事業		新規/継続	継続
対象		青少年	目的	青少年の積極的自発活動により、自らの健康を築き社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、地域活動の推進、地域リーダーの育成を図る。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成のため、啓発事業を行う。</li> <li>・青少年に関わる事業活動に対し、補助を行う。</li> </ul>			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		青少年問題協議会開催 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	青少年問題協議会開催 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	青少年問題協議会開催 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	
事業費(千円)		1,018	127	120	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,018	127	120	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		新型コロナウイルス感染拡大予防のため納涼祭りが中止となり、予定していた青少年パトロールを行うことができなかったが、代わりに二十歳の集いにおいて啓発品を配付した。			
今後の課題		青少年関係関係機関(愛知県・愛知県警等)と協議し、啓発事業など増やすことができないか検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発活動は2回ぐらいあってもよいのではないか。</li> <li>・地域の催事の企画・運営に若者の参加をどのようにして結びつけるかを検討していただきたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-5		
事務事業名		二十歳の集い事業	新規/継続	継続
対象	二十歳を迎える市民	目的	民法改正により成人年齢が十八歳となったものの、人生の節目としての二十歳の年を祝う。	
事業概要	佐屋会場、佐織会場2か所にて、当該年度に二十歳を迎える市民を対象に開催			
成果指標項目			R7目標	—
		R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—	—
単位:	実績	—	—	—
事業実施状況	成人式式典 記念品配付	成人式式典 記念品配付	実行委員企画によるフォトスペース の設置 記念品配布	
事業費(千円)	912	840	836	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	912	840	836
担当課評価	B	B	B	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度より「二十歳の集い」として開催</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から中止や縮小などの検討もされたが、地区や時間を分割するなど感染防止に努めながら通常開催することができた。</li> </ul>			
今後の課題	実行委員を二十歳になる当事者の代表者をお願いしているが、今後少子化が進むと代表者を選抜することが難しくなることが予想される。	今後の方針		維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生の節目の行事として大切にしたい。</li> <li>中学校卒業時点で学校の協力を得て周知を図ると良いと思う。その段階で各中学校区の代表候補を選考し、その後二十歳になるまで毎年の「二十歳の集い」に準備段階から数年間継続して関わり続けてもらえるようにされてはどうか。そうすれば、自分たちの「二十歳の集い」に向けて準備が十分できると思う。課題としては、生涯学習課の担当が人事異動で変わってしまうことにより、関係性が薄くなってしまふことだと考える。課内での対策を期待したい。</li> <li>退職した職員や教員で、二十歳の集いに関係していた方にもお手伝いいただくのはいかがでしょうか。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-6		
事務事業名		家庭教育推進事業	新規/継続	継続
対象	小学生、幼児期の親子	目的	家庭教育の推進とともに、地域ぐるみで明日を担う子どもの健全な育成を図る。	
事業概要	家庭教育に関する「広報・啓発活動」や「学習機会の提供」、「親子がふれあう機会の提供」「小中学校でのあいさつ運動実践」などの事業を実施する。			
成果指標項目	家庭教育推進事業実施施設数		R7目標	24
		R2	R3	R4
成果指標	目標	24	24	24
単位：施設	実績	16	18	23
事業実施状況	小学校家庭教育 幼児期家庭教育	小学校家庭教育 幼児期家庭教育	小学校家庭教育 幼児期家庭教育	
事業費(千円)	473	584	614	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	473	584	614
担当課評価	C	B	A	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら、令和4年10月に親子観劇会、令和5年2月に講演会を開催した。</li> <li>・小学校PTAや児童館・子育て支援センターなどの協力を得て、保護者が家庭教育について考える機会を設けることができた。</li> </ul>			
今後の課題	親子が楽しく過ごせる場を設け、親子のきずなを一層深めるため継続して実施する必要がある。	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で行われている劇や映画などの鑑賞会に父母の参加を呼びかけることで、共通体験が増えると思う。</li> <li>・予算規模以上の効果が期待できる事業であると感じる。引き続き事業が継続できるようにお願いしたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-7		
事務事業名		婦人団体育成事業	新規/継続	継続
対象	婦人会	目的	女性としての知徳、地位の向上に努めるため、婦人団体の活動を支援し育成する。	
事業概要	婦人会育成のため、事業活動に対し補助をする。			
成果指標項目			R7目標	—
	R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—
単位:	実績	—	—	—
事業実施状況	各種行事への協力 婦人会映画会 婦人あいさいの発行	各種行事への協力 婦人会映画会 婦人あいさいの発行	各種行事への協力 婦人会映画会 婦人あいさいの発行	各種行事への協力 婦人会映画会 婦人あいさいの発行
事業費(千円)	840	752	840	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	840	752	840
担当課評価	C	C	C	
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事業縮小</li> <li>令和4年度は計画通りに事業を進められたものの、会員については減少傾向である。</li> </ul>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員数の減少が続いているが、市の主要行事への参加や自主事業の実施などは継続して行ってもらっている。</li> <li>新規会員の加入が課題</li> </ul>	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員減少は婦人会だけではないが、就業女性が参加によるメリットのあるようにはならないか。</li> <li>若年者も入ってもらうことも視野に入っているのであれば、お知らせの方法を変えたり、単発的な参加も可能にすることで、働いている女性にも入っていただけるようにしてほしい。</li> <li>ライン登録などによって、事業への参加案内、呼びかけをすれば良いのではないか。そういうことのできる人材の発掘が重要だと思う。</li> <li>婦人会という名称が良いのか。</li> <li>会費がいるのかも疑問である。会場借用の費用も生涯学習課が持つなど、地域の仲間づくりの手助けをしていただきたい。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-1-8			
事務事業名		土曜日の教育活動推進事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学生	目的	豊かで有意義な土曜日を実現させるために地域市民の方々の協力を得て子供たちと交流を持ちながら文化の伝承・学習機会をつくる。	
事業概要		市民の学習ニーズを活かした多様な学習を企画・展開する。			
成果指標項目		あいさい土曜キラリ学習 教室数		R7目標	25
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	25	25	25	
単位: 教室	実績	2	19	23	
事業実施状況		チャレンジ学習 佐屋・佐織	絵画・剣道 等	絵画・電子工作 等	
事業費(千円)		175	939	1,114	
財源内訳	国庫支出金	79	585	709	
	地方債	0	0	0	
	その他	3	36	48	
	一般財源	93	318	357	
担当課評価		E	B	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業実施数を減少</li> <li>・令和4年度は感染症対策を行いながら実施できた。</li> <li>・地域の方々と協力し、様々な学習機会を作ることができた。</li> </ul>			
今後の課題		児童・保護者のニーズを考えるとともに、講師の要望にも沿った教室運営を考える必要がある。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味により人数に差が出るが、参加人数が少なくても継続していただきたい。</li> <li>・定員を超えて応募がある講座も、より多くの子ども達が参加できるようにしてほしい。</li> <li>・地域の人材(指導者となる人、企画・運営ができる人)を発掘し、広報活動、開催案内、申込などもライン、メールを活用して行うようにしてほしい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

方針番号	方針内容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	2. 文化財等の保護・活用		

事務事業番号		4-2-1	
事務事業名		文化財等保護保存事業	新規/継続 継続
対象	文化財資料	目的	市内外に所在する市関係資料の収集に努めるとともに、調査研究をすすめ、市民にその成果を還元し、文化財保護意識の高揚を図る。
事業概要	市内外の愛西市関係資料調査と資料整理 保存のための措置として文化財の管理及び資料のくん蒸を実施 文化財の保存管理と継承を図るため補助を行う。		
成果指標項目	くん蒸を行う	R7目標	2
	R2	R3	R4
成果指標	目標	2	2
単位: 回	実績	2	2
事業実施状況	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸 立田文化財資料倉庫解体工事設計委託 円空仏・東保クロマツ・勝軍延命地藏菩薩修繕補助	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸 立田文化財資料倉庫解体工事・監理 佐屋代官所址保存整備工事 円空仏・東保クロマツ補助	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸 円空仏・東保クロマツ・西條地藏堂 自動火災報知機設置補助
事業費(千円)	4,274	20,741	1,807
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	4,274	20,741
担当課評価	A	A	A
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、八開郷土資料室(仮)、佐織歴史民俗資料室、市の指定文化財である西照寺の仏像、日置八幡宮の獅子頭の燻蒸を実施</li> <li>・市で保存している古文書の内容等を読み解く整理を、ボランティアの協力で随時実施</li> <li>・市が保存している資料を展示</li> <li>・東保八幡社の天然記念物クロマツに落雷し、表皮の剥離等の被害が見受けられたため、応急処置を実施</li> </ul>		
今後の課題	今後、八開郷土資料室(仮)は立田体育館等移転先を選定し、早急に移転を進める。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた文化財の整理を進めてほしい。</li> <li>・それぞれ必要な事業は、的確に適正に実施していただきたい。</li> <li>・令和3年度に実施された立田文化財資料倉庫解体工事は、跡地の有効活用ができていない。関係課と事前調整をして、学校の駐車場として活用すれば、良かったのでは。今では、囲いのロープも一部修理が必要になっている。今後の利活用方法について、考えていただきたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>		

事務事業番号		4-2-2			
事務事業名		文化財民俗芸能保護保存事業		新規/継続	継続
対象		市内の指定文化財	目的	国選択・市指定の文化財の保存団体に対し、行事の実施や修繕、後継者育成のための支援を行う。	
事業概要		文化財の保存管理と継承を図るため補助をする。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	
事業費(千円)		40	40	40	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	40	40	40	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		勝幡おこわまつり保存会(勝幡オコワ祭)は、国の補助金を利用して、半被の新調とオコワ祭を紹介するパンフレットを作製した。そのパンフレットを利用して、勝幡小学校において、オコワ祭を伝える授業を行った。			
今後の課題		・文化財の保護や適正に保存してもらうために補助を行う。 ・地域の文化財は、市と地域が協力し合い、伝承していくことが重要である。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化の継承は大きな仕事である。</li> <li>・文化財の保護・保存が、どのレベルまで必要であるとするのかを十分に検討することが必要であると思う。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		4-2-3			
事務事業名		文化財啓発事業		新規/継続	継続
対象	市民	目的	郷土について学び文化財保護の意識の高揚を図る。		
事業概要	市民に学習機会の提供を図るため、歴史講演会、教室・講座、企画展を開催する。				
成果指標項目	歴史講演会、教室・講座、企画展の開催件数			R7目標	3
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	3	3	3	
単位: 件	実績	3	3	5	
事業実施状況	あいさい物語 企画展「津島街道をゆく」 佐屋宿ガイドマップ「佐屋宿をゆく」 作成事業	あいさい物語 企画展「あいさいの『城』」 「道具から思い出、そして文化財へ」	あいさい物語 歴史講演会 企画展「市江車行事のひみつ」 企画展「あいさいの寺子屋」 企画展「愛西市の冬の行事・まつり」		
事業費(千円)	160	80	170		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	22	33	34	
	一般財源	138	47	136	
担当課評価	A		A		A
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課学芸員による企画展を開催した。</li> <li>・令和4年度海部歴史研究会講演会を担当し、著名な講師をお招きして2回にわたって講演を行った。</li> <li>・市民の歴史の学習の場を設けるとともに、文化財保護意識の高揚を醸成する。</li> </ul>				
今後の課題	あいさい物語においては参加者が高齢化しており、より安全面を考えた企画が必要となる。	今後の方針		拡大	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味があるからといって、参加できるとは限らない。参加できる機会を増やすためにも、継続して行くことが大切。同じ内容での開催があってもよいと思う。</li> <li>・適切に事業を実施していただきたい。</li> <li>・もっと周知する必要があるのではないか。</li> </ul>				

事務事業番号		4-2-4			
事務事業名		ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	ユネスコ無形文化遺産、尾張津島天王祭・朝祭の主役である「市江車行事」について、市民に広く啓発する。	
事業概要		様々な形態の啓発活動を開催し、市江車について理解を深めていただく。			
成果指標項目		尾張津島天王祭の企画・講座開催		R7目標	1
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	1	1	1	
単位: 件	実績	0	1	2	
事業実施状況		市江車保存会補助金	市江車保存会補助金 「令和3年度祭りを学ぶ」講座	市江車保存会補助金 「令和4年度祭りを学ぶ」講座 企画展「市江車行事のひみつ」	
事業費(千円)		871	1,000	2,200	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	871	1,000	2,200	
担当課評価		E	A	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張津島天王祭は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、縮小開催であったが、市江車保存会は技術を伝えるために市江車の飾り付けなどを実施した。</li> <li>・6月より佐織公民館において、企画展「市江車行事のひみつ」を開催した。</li> <li>・愛西市・津島市共同開催で「令和4年度祭りを学ぶ」講座を開催し、愛西市・津島市の小学生(4-6年生)に、尾張津島天王祭について学んでもらった。</li> <li>・市江車の高欄・うどん板等の修理事業を行った。(令和5年度企画展開催)</li> </ul>			
今後の課題		市江車保存会を補助し、市内外を問わず広く知っていただくため啓発する必要がある。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにいなながら、なかなか知る機会に恵まれないこともある。年単位の周期で継続していくことも必要。</li> <li>・適切に事業を実施していただきたい。</li> <li>・広報誌のほか、ライン、メール等での啓発活動を強化されると良いと思う。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	3. 文化・芸術活動の推進		

事務事業番号		4-3-1	
事務事業名		文化芸術団体育成事業	新規/継続 継続
対象	市民	目的	市の生涯学習施設を利用し、心の豊かさの糧となる文化・芸術に市民が触れる機会を提供する。
事業概要	文化祭・音楽祭などを開催 文化芸術活動団体を支援するため、文化芸術の振興を図る団体として文化協会へ補助金を交付		
成果指標項目			R7目標 ー
	R2	R3	R4
成果指標	目標 ー	ー	ー
単位:	実績 ー	ー	ー
事業実施状況	文化協会補助金	文化協会補助金 文化祭交付金 あいさい音楽祭	文化協会補助金 文化祭交付金 あいさい音楽祭
事業費(千円)	2,700	4,009	5,685
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	359
	一般財源	2,700	3,650
担当課評価	C	C	C
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を講じながら文化祭、あいさい音楽祭を開催した。</li> <li>・あいさい音楽祭については、合唱団の募集を経験者のみではあるが再開した。</li> </ul>		
今後の課題	文化・芸術に触れる機会として、特に音楽祭の内容の充実を図っていく。	今後の方針	拡大
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱団員の募集について、愛西市だけでメンバーを集めるのは難しいと思うが、愛西市が中心となる第九を演奏できるように、海部地区に広げて募集したい。</li> <li>・海部津島が基盤になっている事業で、成功していただきたい。地区の名物になるように期待している。</li> <li>・市外から参加された方に翌年改めて案内をするなどすれば、継続的な参加が見込めるのではないかな。</li> <li>・適切に事業を実施していただきたい。質の高い企画を期待する。</li> <li>・もっと周知する必要があるのではないかな。</li> </ul>		

方針番号	方針内容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	4. 図書館サービスの推進		

事務事業番号		4-4-1	
事務事業名		図書館整備充実事業	新規/継続 継続
対象	市民	目的	図書館システムにより図書の貸出返却、資料管理やインターネット予約、レファレンス等を一括して行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出状況管理、利用者管理、図書資料データ管理、ホームページ、インターネット予約管理、統計作成など行う。</li> <li>・インターネットを利用して資料データを市民が自宅で検索・予約できる。</li> </ul>		
成果指標項目	利用者開放端末使用状況検索 インターネット(自宅・携帯等)	R7目標	400,000
	R2	R3	R4
成果指標	目標	400,000	400,000
単位: 件	実績	94,987	404,074
事業実施状況	インターネット検索 94,987件	インターネット検索 126,419件	インターネット検索 404,074件 システム導入委託
事業費(千円)	5,137	4,860	10,810
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	5,137	4,860
担当課評価	E	D	A
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に新システムを導入</li> <li>・HPは、図書館の管理運営を行っている指定管理者も会議に参加することで、運営する側の意見も聞き、図書館新聞「はすみん」のダウンロードを可能にしたり、こどものページを充実させた。</li> </ul>		
今後の課題	利用者のニーズに対応すべくシステムの活用を図る。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐織や佐屋でできる本の検索が、立田・八開地区の支所でもできるといい。取り寄せをしようという気持ちにもなるし、行ったけど探している本がないという事態も避けられる。</li> <li>・今の時代に適した利活用ができるような対策を期待する。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>		

事務事業番号		4-4-2		
事務事業名		図書館資料提供事業	新規/継続	継続
対象		市民	目的	図書資料の充実・レファレンス資料の充実を図る。
事業概要		利用者が求める資料を提供するため、資料の収集・レファレンス・閲覧・貸出等を行う。		
成果指標項目		愛西市図書館貸出冊数	R7目標	中央:150,000 佐織:43,000
		R2	R3	R4
成果指標	目標	中央:150,000 佐織:43,000	中央:150,000 佐織:43,000	中央:150,000 佐織:43,000
単位: 冊	実績	中央:102,421 佐織:31,152	中央:140,331 佐織:39,952	中央:146,348 佐織:41,840
事業実施状況		図書資料購入点数 4,401冊 視聴覚資料購入点数 106点	図書資料購入点数 4,238冊(紙芝居を含む) 視聴覚資料購入点数 78点 (CD/DVD)	図書資料購入点数 4,060冊(紙芝居を含む) 視聴覚資料購入点数 73点 (CD/DVD)
事業費(千円)		7,414	7,276	7,276
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,414	7,276	7,276
担当課評価		B	A	A
具体的評価		レファレンスに使用できるように、令和5年1月4日より「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」を開始した。		
今後の課題		所蔵スペースの限界を超えて収納しているため、書棚の配置の見直しをはかり、所蔵スペースの拡大を目指す。	今後の方針	維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、適正な事業展開を期待する。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>		

事務事業番号		4-4-3			
事務事業名		子ども読書活動推進計画事業		新規/継続	継続
対象		児童生徒	目的	令和3年3月策定の第二次子ども読書活動推進計画に基づき、事業を行う。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ会、季節展示、工作会等を随時開催し、学校との連携を図る。</li> <li>・学校、児童館、子育て支援センター等へ団体貸出を行う。</li> </ul>			
成果指標項目		学校団体貸出冊数		R7目標	3,500
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	3,500	3,500	
単位: 冊	実績	—	2,650	3,349	
事業実施状況		おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	
事業費(千円)		0	198	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	198	0	
担当課評価		—	B	A	
具体的評価		新型コロナウイルス感染症拡大防止のために見合わせていた定例おはなし会(中央図書館「とんがりぼうしおはなし会」、佐織図書館「さおりブックキャットおはなし会」を再開			
今後の課題		子どもの読書週間を育むために、小中学校、保育園等をはじめ、子どもと関係する課での連携を深め、事業の展開を図る。	今後の方針		拡大
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館や子育て支援センターへの出前は、大変よい。</li> <li>・引き続き、適正な事業展開を期待する。</li> <li>・拡大願いたい。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	1. スポーツ活動の振興		

事務事業番号	5-1-1		
事務事業名	高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング	新規/継続	継続
対象	小学生以上	目的	健康維持と体力づくり及び運動習慣をサポートするため、有酸素運動として有効で、かつ比較的軽い運動であるウォーキングを推進する。
事業概要	「歩く」ことにより、運動不足の解消、健康づくりを図る。		
成果指標項目	さわやかウォーキングの参加者数	R7目標	50
	R2	R3	R4
成果指標	目標	50	32
単位: 人	実績	—	30
事業実施状況	令和3年 3月7日(日) 「日本ラインうぬまの森」 (岐阜県各務原市)	令和4年3月6日(日) 「日本ラインうぬまの森」 (岐阜県各務原市)	令和5年3月5日(日) 「日本ラインうぬまの森」 (岐阜県各務原市)
事業費(千円)	0	0	9
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	0
担当課評価	—	—	A
具体的評価	60歳以上の参加者が全体の9割を占め、「歩く」ことにより運動不足の解消、健康づくりを図るためのイベント運営ができた。		
今後の課題	安全が確保され、参加者が楽しく安心して歩くことができる場所を選定する。また、SNSなどの周知方法も活用し、多くの人に情報が入るようにする。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントとしてはよいと思う。日常の運動の延長として参加できるようにしていただきたい。</li> <li>・三世代が参加できるということで移動手段が確保でき、参加しやすくなっていると感じる。</li> <li>・高齢者をターゲットにしながら、親・子・孫の三世代が参加できるコースを選定いただきたい。開催案内も参加申し込みもライン、メール等でできるようにしていただきたい。</li> </ul>		

事務事業番号		5-1-2		
事務事業名		高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ	新規/継続	継続
対象		高校生以上	目的	高齢者を含めた健康維持と体力づくり・運動習慣をサポートするため、総合型地域スポーツクラブのスポーツ事業(常時活動)として機能改善、向上を図る。
事業概要		親水公園総合体育館において、ストレッチの講座を年間を通して開催する。		
成果指標項目		参加者数	R7目標	20
		R2	R3	R4
成果指標	目標	20	20	20
単位: 人	実績	17	14	14
事業実施状況		第2・4金曜日(年間 21回) 参加者17名(65歳以上17名)	第2・4金曜日(年間 24回) 参加者14名(65歳以上14名)	第2・4金曜日(年間 23回) 参加者14名(65歳以上13名)
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
担当課評価		B	B	B
具体的評価		市民が楽しく、健康・体力づくりができるスポーツの定期的・継続的な活動のサポートができた。		
今後の課題		参加者の減少を防ぎ、増加を図るため、講座の内容を参加者のニーズに合わせ、継続的に活動できるようサポートする。	今後の方針	維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生以上が対象で、世代を跨いだ参加が見込みにくく、車などの移動手段の確保が難しくなり、参加状況に影響があるのでは。</li> <li>・開催時間が平日の午前で、高齢者の参加が多いのではないか。</li> <li>・継続的な参加になるように、ポイント制にするなどの工夫が必要だと考える。</li> <li>・内容をストレッチに限定しないで、取り組みやすい運動を取り入れることを検討されても良い。</li> <li>・高齢者をターゲットにしながら、高校生を含めた若者を対象に募集案内をライン、メール等で行い、申込手続きもライン、メール等でできるようにして、手続きを簡便化してはどうか。</li> </ul>		

事務事業番号		5-1-3			
事務事業名		スポーツ教室開催事業		新規/継続	継続
対象		未就学児～高齢者	目的	スポーツ教室を通してスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動、地域の仲間作りを推進するとともに健康増進を図る。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い世代に向けた教室を開催し、生涯スポーツとの出会いの場を提供する。</li> <li>親水公園総合体育館、佐織体育館、立田体育館、木曾三川公園東海広場、長良川国際レガッタコースにおいて開催</li> </ul>			
成果指標項目		参加者数		R7目標	450
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	400	400	400	
単位: 人	実績	357	360	374	
事業実施状況		総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め15種目357名 (内65歳以上130名) (内高校生以上～40歳以下7名)	総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め16種目360名 (内65歳以上115名) (内高校生以上～40歳以下9名)	総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め21種目374名 (内65歳以上124名) (内高校生以上～40歳以下10名)	
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
担当課評価		B	A	A	
具体的評価		幅広い世代の方々が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行い、市民の健康、体力づくりのサポートをした。			
今後の課題		高齢者の利用者数が安定している一方で、高校生以上の若い世代の利用者が少ないため、若い世代向けの新たな講座の開設を検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い世代に門戸を開くことは必要であると思うが、高齢化が進む状況を考えると、個人的意見にはなるが、対象の中心は中高年齢者で良いと思う。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		5-1-4			
事務事業名		ニュースポーツフェスティバル開催事業		新規/継続	継続
対象		年長以上	目的	子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツを紹介、体験することで、ニュースポーツの普及とともに、運動による健康増進を図る。	
事業概要		愛西市親水公園総合体育館にて「遊びが運動になる、運動が遊びになる」をテーマにニュースポーツの紹介と気軽にできる運動の体験の場を提供する。			
成果指標項目		ニュースポーツフェスティバルの参加者数		R7目標	300
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	250	
単位: 人	実績	—	—	191	
事業実施状況		8月16日(日) 競技種目4種 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	8月15日(日) 競技種目3種 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	8月6日(土) 競技種目5種	
事業費(千円)		0	0	4	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	4	
担当課評価		—	—	B	
具体的評価		子どもから高齢者までが親しめる生涯スポーツの実現に向けて事業を推進し、新型コロナウイルス感染症対策をしながら開催した。			
今後の課題		ニュースポーツフェスティバルを普及するためのイベント運営を検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で楽しめる競技が多くなるといい。</li> <li>・家族(三世代)の参加を促す企画を取り入れていただくと良いと思う。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		5-1-5			
事務事業名		スポーツ推進計画推進事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。	
事業概要		令和4年度から令和8年度までの5年間の愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。			
成果指標項目				R7目標	—
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	—	
単位:	実績	—	—	—	
事業実施状況		平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	令和3年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
担当課評価		C	C	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和4年度から令和8年度まで」の5年間を計画期間とする第2次スポーツ推進計画を令和4年3月に策定したものにに基づき、個々の事業推進に努めた。</li> <li>・検証委員会で令和4年度の進捗状況を報告し、委員より意見を賜った。</li> </ul>			
今後の課題		他の団体と協力し、個々の事業推進達成に努める。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次愛西市スポーツ推進計画の基本方針と基本施策に基づいて、段階的に事業を推進していただきたい。</li> <li>・愛西市と言えばこのスポーツ、といった柱を作って推進してはどうか。</li> </ul>			

事務事業番号		5-1-6			
事務事業名		スポーツ教室推進		新規/継続	継続
対象		未就学児～高齢者	目的	スポーツ教室を通じてスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動とスポーツ競技力の向上を図る。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>各スポーツ教室を地区体育館等を開催場所にして、地域市民が気軽に参加できる教室を開催する。</li> <li>親子が楽しんで参加できる教室を開催する。</li> </ul>			
成果指標項目		講座数	R7目標	60	
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	50	55	55	
単位：講座	実績	59	55	53	
事業実施状況		総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 20講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 28講座 立田体育館 1講座 佐織体育館 10講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 20講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 26講座 立田体育館 1講座 佐織体育館 8講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 21講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 24講座 立田体育館 2講座 佐織体育館 6講座	
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
担当課評価		A	A	A	
具体的評価		ニーズや流行に合わせた講座開講ができており、子どもから高齢者が気軽に参加しスポーツに親しむ機会を与えることができた。			
今後の課題		今後も市民にスポーツを親しむ機会を与えることができるスポーツ教室・講座を開催し、継続的なスポーツ活動ができる種目を検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>八開地区でも開催できるように検討してほしい。</li> <li>事業の一層の推進を期待する。</li> <li>維持願いたい。</li> </ul>			

事務事業番号		5-1-7			
事務事業名		スポーツイベント開催		新規/継続	継続
対象		未就学児又は小学生以上	目的	スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会と軽スポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康維持、増進を図る。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会において、誰でも気軽に参加できるジョギングを開催し、参加者数を増やし、市民のスポーツ振興を図る。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブにおいて、スポーツを通して幅広い世代の方と交流ができる事業を開催する。</li> </ul>			
成果指標項目		事業の開催(種目数)		R7目標	5
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	5	
単位: 種目	実績	—	—	3	
事業実施状況		<u>教育委員会事業</u> いきいきジョギング <u>総合型地域スポーツクラブ事業</u> 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント	<u>教育委員会事業</u> いきいきジョギング <u>総合型地域スポーツクラブ事業</u> 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会	<u>教育委員会事業</u> いきいきジョギング <u>総合型地域スポーツクラブ事業</u> 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会	
事業費(千円)		0	0	19	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	19	
担当課評価		—	—	C	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても感染予防に気を配り、開催することができた。</li> <li>・世代間交流ができるような事業展開ができた。</li> <li>・参加者は、20歳以下1割、21歳以上59歳以下8割、60歳以上1割で、親子での参加や三世代そろっての参加も見られた。</li> </ul>			
今後の課題		今後もスポーツに親しむ機会を創出し、健康維持・増進に役立つようなイベントを企画し、参加者数が増えるよう内容を検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子、家族での参加を増やしたい。</li> <li>・幅広い年齢層を対象にしたスポーツイベントを行い、三世代が参加しても楽しめるイベントの企画も積極的に推進していただきたい。</li> <li>・高齢社会を意識して、60歳以上をターゲットにした企画も期待したい。</li> <li>・愛西市出身の有名選手を招く等して、盛り上がるイベントを実施してもらいたい。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	2. 地域スポーツ指導者の養成		

事務事業番号	5-2-1		
事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続
対象	スポーツ指導者	目的	市民のスポーツの振興を図る。
事業概要	スポーツに関する行事又は事業への協力並びにスポーツイベントの企画運営を行う。		
成果指標項目	事業への参加率	R7目標	100
	R2	R3	R4
成果指標	目標	—	100
単位: %	実績	—	100
事業実施状況	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 各地域市民体育大会への協力参加	スポーツイベントの企画、運営 3イベント(中止) 総合型地域スポーツクラブへの参加 各地域市民体育大会への協力参加(中止) 日曜フリースポーツの指導	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 各地域市民体育大会への協力参加 日曜フリースポーツの指導
事業費(千円)	1,950	1,950	1,924
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,950	1,950
担当課評価	—	—	A
具体的評価	地域コミュニティの核となる市民体育大会の開催ができた。 スポーツクラブの講座の一環として、スポーツ推進委員が講師となる日曜フリースポーツを開講し、親しみやすいスポーツを市民の方に体験していただいた。		
今後の課題	参加者数が伸び悩んでいる講座もあるため、スポーツ推進委員と協議し、市民がスポーツを楽しむ機会となるようなイベントを企画・運営する。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会など、大変活躍してもらっている。</li> <li>・スポーツ推進委員の資質向上を図り、スポーツイベントの企画・運営能力を高めてほしい。</li> <li>・スポーツ推進委員によるスポーツ行事・事業への協力体制の強化を図ってほしい。</li> <li>・現役で仕事をされている人と退職された人とは、委員として活動の幅が違うと思う。現役は引退したが、元気な方に委員をやっていただくのはいかがでしょうか。</li> <li>・海部地域にいるスポーツ指導者を調査し、必要な中学校に指導者として入っていただき、それを教育委員会もサポートするという形を作っていただきたい。</li> <li>・誰でも気軽にスポーツができる環境を整えてもらいたい。</li> </ul>		

事務事業番号		5-2-2			
事務事業名		地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)		新規/継続	継続
対象		スポーツ指導者	目的	スポーツ少年団・学校運動部活等において、必要最低限の知識・技能に基づき、当該競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する。	
事業概要		スポーツ少年団の指導者及び関係者に対し、スタートコーチ養成講習会参加を進める。			
成果指標項目		愛西市スポーツ協会に加盟しているスポーツ少年団への周知率		R7目標	100
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	100	
単位: %	実績	—	—	100	
事業実施状況		講習会中止	スポーツ少年団 11団体	スポーツ少年団 11団体	
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
担当課評価		—	—	A	
具体的評価		令和2年度より、スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会が廃止になり、公認スタートコーチ養成講習会になった。			
今後の課題		子ども達が適切な指導のもと安全にスポーツをすることができる環境づくり、スポーツ振興と競技力向上にあたる指導者を育成し、公認スポーツ指導者の資格保持者の増員を図るため、講習会の周知を努める。	今後の方針	維持	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質向上は重要。</li> <li>・勝利至上主義にならないようにしたい。子どもたちがスポーツに取り組みやすいようにという事を一番に考えてくれる指導者に増えていただきたい。</li> <li>・人材バンクのようなシステムを作り、地域の人材の発掘、育成に努めていただきたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	3. スポーツ団体の育成・自立支援		

事務事業番号	5-3-1		
事務事業名	地区市民体育大会助成事業	新規/継続	継続
対象	八開地区市民体育大会推進協議会 立田地区市民体育大会推進協議会	目的	地区市民体育大会推進協議会及び運営委員会を組織し、スポーツ基本法第23条(体育の日の行事)に基づき、地域住民の交流とスポーツ・レクリエーション活動を支援する。
事業概要	地区市民が主体になり地域市民が自主的に参加する体育大会の開催経費を補助する。		
成果指標項目	参加者	R7目標	2,500
	R2	R3	R4
成果指標	目標	2,000	2,500
単位: 人	実績	—	2,236
事業実施状況	10月4日(日)八開地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 10月10日(土)立田地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	10月3日(日)八開地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 10月9日(土)立田地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	10月2日(日)八開地区 10月8日(土)立田地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から午前からのみの開催
事業費(千円)	4	0	1,484
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	4	0
担当課評価	—	—	B
具体的評価	地域コミュニティ機能が低下し、有事の際に地域住民が助け合う共助の意識が薄れていることが危惧されている中、地域主導型で体育大会を開催し、地域住民の交流の機会をつくることで共助の意識を啓発し、地域の連携を強化することができるよう支援した。		
今後の課題	地域主導に向けての体制を整える。	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数少ない地域活動であり、大切にしたい。八開も、他地区の方々に助けていただき、感謝している。</li> <li>・地域主導型の体育大会において、地域住民の交流の機会をつくり、共助の意識を啓発し、地域の連携を強化する機会としていただきたい。</li> <li>・スポーツでつながる地域の和は大切だと思うので、難しいかもしれないが、他の地区でも開催できないか検討してもらいたい。</li> </ul>		

事務事業番号		5-3-2			
事務事業名		スポーツ協会補助事業		新規/継続	継続
対象		スポーツ協会	目的	スポーツの普及振興および加盟団体の活動強化、市民大会の開催等、団体の活動および運営を補助し、市民の心身の健全な発達を図る。	
事業概要		愛西市における体育・スポーツ団体を統括し、アマチュアスポーツの普及振興と市民のスポーツへの関心を高めるのに必要な事業を行うため、団体へ補助する。			
成果指標項目		スポーツ協会加盟団体登録者数		R7目標	4,070
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	3,500	3,500	3,500	
単位: 人	実績	3,311	3,351	3,182	
事業実施状況		スポーツ協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 10団体 小・中学校体育連盟 市民大会 5種目 596名	スポーツ協会加盟団体 一般団体 23団体 スポーツ少年団 10団体 小・中学校体育連盟 市民大会 12種目 1,308名	スポーツ協会加盟団体 一般団体 25団体 スポーツ少年団 11団体 小・中学校体育連盟 市民大会 18種目 2,432名	
事業費(千円)		14,914	13,564	14,914	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	14,914	13,564	14,914	
担当課評価		A	A	A	
具体的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会が、地域スポーツの中核となるような組織を目指す。</li> <li>・子どもたちの健全育成、体力向上に大きく寄与するスポーツ少年団の活動を推進し、一般団体においても小中学生の受け入れや周知を積極的に行い、子どもたちの体力低下の防止に寄与した。</li> </ul>			
今後の課題		スポーツ協会が、地域スポーツの中核となるような組織を目指す。学校部活動とのかかわりについては今後も検討・協議をしていく。	今後の方針	拡大	
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校部活を地域へ移行するならば、スポーツ協会が受け皿になれるといいと思う。学校の部活動と地域では違う所があるので、難しいとは思いますが、色々なところと協力して、進めてほしい。</li> <li>・スポーツの価値や影響力を存分に生かして、地域活性に取り組んでもらいたい。</li> </ul>			

事務事業番号		5-3-3			
事務事業名		総合型地域スポーツクラブ助成事業		新規/継続	継続
対象		あいさいスポーツクラブ	目的	誰もが気軽にスポーツを親しむ機会が増え、生涯スポーツ社会の実現を図る。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民により主体的に運営される総合型地域スポーツクラブに対する活動支援を行う。</li> <li>・クラブの運営費(人件費を含む)として、補助金を交付</li> <li>・人件費を補助金で賄っている状況のため、勤務日数を加味して積算</li> </ul>			
成果指標項目		会員数		R7目標	500
		R2	R3	R4	
成果指標	目標	—	—	400	
単位: 人	実績	—	—	374	
事業実施状況		会員数 357名 常時活動講座 20講座 補助金交付実績 3,900,000円	会員数 360名 常時活動講座 20講座 補助金交付実績 3,900,000円	会員数 374名 常時活動講座 21講座 補助金交付実績 4,700,000円	
事業費(千円)		3,900	3,900	4,700	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	3,900	3,900	4,700	
担当課評価		—	—	A	
具体的評価		幅広い世代が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行った。			
今後の課題		会員数の増加を目指し、新たな講座の開設を検討する。	今後の方針		維持
評価委員意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校部活とのかかわりを考えたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> <li>・新規会員獲得に向けて、方策の検討を。</li> </ul>			

(令和5年度)

方針番号	方針内容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	4. スポーツ施設の活用の充実		

事務事業番号	5-4-1		
事務事業名	スポーツ施設等指定管理者事業	新規/継続	継続
対象	スポーツ施設等	目的	民間企業のノウハウを活かし、住民サービスの向上を図る。
事業概要	体育館3館、屋外スポーツ施設6施設を一括して指定管理者制度を導入し、民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減を進める。		
成果指標項目	スポーツ施設等利用者数	R7目標	344,000
	R2	R3	R4
成果指標	目標	341,000	341,000
単位: 人	実績	189,903	238,719
事業実施状況	毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業
事業費(千円)	153,122	152,610	175,093
財源内訳	国庫支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	998	0
	一般財源	152,124	152,610
担当課評価	C	C	B
具体的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設をはじめ、屋外スポーツ施設や学校体育施設の有効利用や住民サービスの向上を図った。</li> <li>・幅広く自主事業を開講し、光熱費の高騰があったが、利用者にも節電を呼びかけ電球の引き替えや、電気の利用時間の削減など工夫ができていた。</li> </ul>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減に努める。</li> <li>・さらなるスポーツ人口の増加に繋げるため、民間企業のノウハウを活用し施設の有効活用を検討する。</li> </ul>	今後の方針	維持
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の適切な維持管理、経費の節減に努めていただきたい。</li> <li>・民間企業のノウハウを活用して、市民サービスに努めていただきたい。</li> <li>・今年度からスポーツ施設を利用させてもらっているが、利用しやすいと思うので維持願いたい。</li> </ul>		

事務事業番号		5-4-2		
事務事業名		体育施設整備事業	新規/継続	継続
対象	体育施設	目的	体育施設がいつでも安心・安全で快適に利用できる。	
事業概要	体育施設が安全・快適に利用できるよう施設整備を図る。			
成果指標項目			R7目標	—
		R2	R3	R4
成果指標	目標	—	—	—
単位:	実績	—	—	—
事業実施状況	佐屋総合運動場管理室等設置工事等	親水公園総合運動場テニスコート改修工事等	親水公園総合体育館トレーニングルーム中側空調設備改修工事等	
事業費(千円)	209,484	55,576	17,364	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	189,834	40,172	13,695
	一般財源	19,650	15,404	3,669
担当課評価	B	B	B	
具体的評価	体育施設が安全・快適に利用できるよう改修工事及び設計・監理委託を行った。			
今後の課題	施設修繕計画により、計画的な施設整備を行う。	今後の方針	維持	
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧八開庁舎の講室を、体育施設として活用できないか検討してほしい。種目は限られるかもしれないが、スポーツ施設としての使用も可能なのではないかと思う。</li> <li>・各施設の適切な整備をお願いしたい。</li> <li>・維持願いたい。</li> </ul>			

